

## 聖杯

キリストとは一口で結べば「ユダヤ王」です。以上のことをふまえて「聖杯」を定義し直すと以下のようになります。

- ①キリストの遺物（遺体の一部）を載せた物質としての杯。
- ②ユダヤ王の血流をその身に受けたマグダラのマリア（その遺体）。
- ③キリスト（ユダヤ王）を生み出す器としての知識文献。
- ④ユダヤ王とマグダラのマリアの血脈子孫。

ユダヤ王のルーツを辿るとダビデ王になり、マグダラを通じたその血流子孫が「聖杯家」で④の聖杯になります。ただしマグダラはイエスの磔刑後にフランスに逃れ幾人もの子孫があるので「聖杯家」は多数存在するはずですが、そこでその中でも②を所有する「聖杯家」が正統子孫を主張出来るのかも知れません。

さて、定義し直した①②③の「聖杯」は日本で言う三種の神器に相当すると見たら分かりやすいかも知れません。日本では三種の神器を受け継ぎ所持する者こそが天皇の正統継承者になるでしょう。

日本の三種の神器と同様に、定義し直した①②③の「聖杯」を全てそろえて手に入れた者こそがダビデ王の正統継承者でユダヤ王となる正式権限を有することになる、この見解は成立するでしょう。

しかもそのユダヤ王とはユダヤ民族の王だけではなくエルサレムを中心に地上世界全体を統治する「世界王」、こうなれば「聖杯」は「世界王権」を意味します。まさに無二の至宝中の至宝です。

逆にその秘密の至宝が他者の手に渡れば大変なことになります。こうした秘密が口伝で聖杯家には伝えられていたように思えます。

この「聖杯」を守護する目的で設立されたのがシオン修道会でありテンブル騎士団だというわけです。テンブル騎士団がエルサレムの神殿跡の地下で発掘していたのが「聖杯」①と③でしょう。この秘密を保持するため9年間も9名の設立メンバーのままだったのです。

以上、「[外伝16 「聖杯」を所持する者](#)」より

※なお、①のキリストの遺物（遺体の一部）とは洗礼者ヨハネの斬首された首であり、これは[後に言及](#)しています。